

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7927 URL https://www.muto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,540	△36.2	△104	—	△136	—	△205	—
2020年3月期第1四半期	5,548	△3.9	286	174.7	310	26.8	222	159.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △154百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △190百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△28.61	—
2020年3月期第1四半期	30.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	21,455	11,617	51.1
2020年3月期	21,290	11,840	52.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 10,953百万円 2020年3月期 11,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	9.50	17.50
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,300	△17.0	450	△58.4	450	△61.5	300	△52.1	41.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	7,739,548株	2020年3月期	7,739,548株
2021年3月期1Q	552,784株	2020年3月期	552,784株
2021年3月期1Q	7,186,764株	2020年3月期1Q	7,186,764株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、減速傾向にあります。特に、緊急事態宣言の発令に伴い、商業施設の営業停止や外出の自粛などが行われ、消費の落ち込みに加え、企業業績や雇用環境の悪化が顕著に見られました。

世界経済におきましては、欧米や新興国を中心とした新型コロナウイルスの感染拡大により、各国の経済は低迷いたしました。また、一部の国では、ロックダウン等の感染拡大防止策が実施され、経済活動が大幅に制限されるなど、厳しい状況が続いております。

当社を取り巻く業界においても、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が大きく、全般的に需要は減少しております。自動車関連では、各自動車メーカーで工場の稼働停止や減産が行われ、世界的に生産・販売台数が減少いたしました。家電分野では、感染拡大防止策に伴う経済活動の制限を背景に、国内外で需要が落ち込んでおります。一方、テレワークや在宅勤務の増加により、電子ペンやプリンターなど一部では需要の回復が見られました。医療機器関連では、健康志向の増加に伴い医療ニーズは高まっておりますが、各国における経済活動の制限などを背景に、需要は底堅く推移いたしました。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、付加価値の高い製品の受注や省力化に向けた生産体制の強化、内製化の推進などを続けてまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした取引先からの受注減に伴い、売上高は大きく減少いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は35億4千万円と前年同四半期と比べ20億7百万円(36.2%)の減収、営業損失は1億4百万円(前年同四半期は営業利益2億8千6百万円)、経常損失は為替差損の増加などにより1億3千6百万円(前年同四半期は経常利益3億1千万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億5百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益2億2千2百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、テレワークや在宅勤務の増加を背景に、電子ペン部品の売上高は増加いたしました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、多数の取引先からの受注が減少し、プラスチック成形事業全体では減収・減益となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて33億7千1百万円と前年同四半期と比べ17億5千8百万円(34.3%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は3千3百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)3億8百万円)となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、医療機器と電子ペン部品の売上高は堅調に推移しましたが、市場の縮小が続くデジタルカメラ関連部品の売上高は、大幅な減収となりました。自動車向け電装品関係部品におきましても、受注の回復が見込めず、厳しい状況が続いております。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて1億2千5百万円と前年同四半期と比べ2億3千7百万円(65.5%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は6千6百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)2千9百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、展示会や多くの開発案件が中止となりました。そのため、設計部門では、パッケージ基板や民生用の一般基板を中心に受注が減少し、設計業務の売上高は大きく減少いたしました。検査部門では、各種センサー等に使用されるセラミック基板の売上高が好調に推移し、増収となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて5千8百万円と前年同四半期と比べ1千5百万円(21.4%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は4百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億1千8百万円増加し、139億8千6百万円となりました。現金及び預金が1億9千2百万円、有価証券が9億2千5百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が5億9千万円、電子記録債権が1億2千9百万円、商品及び製品が8千5百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5千3百万円減少し、74億6千8百万円となりました。有形固定資産が8千2百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億6千4百万円増加し、214億5千5百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億8千5百万円増加し、64億1百万円となりました。短期借入金が7億円増加し、支払手形及び買掛金が3億5千7百万円減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億1百万円増加し、34億3千5百万円となりました。長期借入金が9千3百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ3億8千7百万円増加し、98億3千7百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億2千2百万円減少し、116億1千7百万円となりました。利益剰余金が2億7千3百万円減少したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響から合理的な算定は困難であると判断し、未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づいて連結業績予想を試算し、公表することといたしました。

今後の日本及び世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、全世界的な減速傾向が続くものと思われます。また、各国における感染拡大防止策の緩和に伴い、経済活動は再開されつつありますが、今後も一定の経済活動の制限が続く可能性があります。このような状況の中、当社グループは、国内生産への回帰や生産地の分散によりサプライチェーンの停止に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、新型コロナウイルスの感染拡大による影響に対応していく所存であります。

以上により、通期の業績については、売上高は173億円(前期比17.0%減)、営業利益は4億5千万円(前期比58.4%減)、経常利益は4億5千万円(前期比61.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は3億円(前期比52.1%減)を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,777,546	6,969,590
受取手形及び売掛金	3,189,600	2,599,333
電子記録債権	534,005	404,111
有価証券	—	925,707
商品及び製品	696,611	610,627
仕掛品	965,295	950,389
原材料及び貯蔵品	1,239,252	1,254,769
未収入金	184,488	133,125
その他	182,943	140,633
貸倒引当金	△1,300	△1,300
流動資産合計	13,768,444	13,986,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,249,224	2,223,405
機械装置及び運搬具（純額）	2,832,968	2,707,413
土地	1,148,758	1,159,641
リース資産（純額）	2,445	2,257
建設仮勘定	102,941	141,161
その他（純額）	562,930	583,158
有形固定資産合計	6,899,268	6,817,038
無形固定資産		
231,233	231,233	218,837
投資その他の資産		
投資有価証券	146,428	153,012
退職給付に係る資産	90,093	109,914
繰延税金資産	3,409	1,350
その他	154,302	170,803
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	391,348	432,195
固定資産合計	7,521,850	7,468,071
資産合計	21,290,294	21,455,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,795,252	1,437,371
短期借入金	2,150,000	2,850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,292,396	1,322,404
未払法人税等	75,160	89,636
賞与引当金	195,082	106,096
その他	608,490	596,350
流動負債合計	6,116,381	6,401,859
固定負債		
長期借入金	2,660,946	2,754,247
繰延税金負債	263,447	268,413
役員退職慰労引当金	158,178	154,940
退職給付に係る負債	239,619	249,036
その他	11,580	8,965
固定負債合計	3,333,771	3,435,604
負債合計	9,450,153	9,837,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,168	2,246,168
利益剰余金	8,411,296	8,137,413
自己株式	△397,883	△397,883
株主資本合計	12,448,541	12,174,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,279	△13,005
為替換算調整勘定	△1,246,692	△1,208,459
その他の包括利益累計額合計	△1,266,972	△1,221,465
非支配株主持分	658,572	664,403
純資産合計	11,840,141	11,617,597
負債純資産合計	21,290,294	21,455,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	5,548,346	3,540,396
売上原価	4,585,849	3,080,427
売上総利益	962,497	459,969
販売費及び一般管理費	676,060	564,419
営業利益又は営業損失(△)	286,437	△104,449
営業外収益		
受取利息	25,201	15,417
受取配当金	2,688	2,937
その他	5,446	10,568
営業外収益合計	33,336	28,923
営業外費用		
支払利息	8,041	7,932
為替差損	1,670	51,714
その他	—	975
営業外費用合計	9,711	60,623
経常利益又は経常損失(△)	310,061	△136,149
特別利益		
固定資産売却益	272	2
特別利益合計	272	2
特別損失		
固定資産除却損	192	937
特別損失合計	192	937
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	310,142	△137,084
法人税等合計	71,935	56,437
四半期純利益又は四半期純損失(△)	238,206	△193,522
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,693	12,086
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	222,512	△205,608

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	238,206	△193,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△284	7,274
為替換算調整勘定	△428,129	31,980
その他の包括利益合計	△428,414	39,255
四半期包括利益	△190,207	△154,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△171,108	△160,101
非支配株主に係る四半期包括利益	△19,098	5,834

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	プラスチック成形事業	精密プレス部品事業	プリント基板事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,124,084	350,954	73,307	5,548,346	—	5,548,346
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,113	11,658	1,560	19,332	△19,332	—
計	5,130,198	362,612	74,867	5,567,679	△19,332	5,548,346
セグメント利益又は損失(△)	308,887	△29,807	7,357	286,437	—	286,437

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	プラスチック成形事業	精密プレス部品事業	プリント基板事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,366,579	114,938	58,878	3,540,396	—	3,540,396
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,082	10,337	—	15,420	△15,420	—
計	3,371,661	125,276	58,878	3,555,816	△15,420	3,540,396
セグメント損失(△)	△33,695	△66,056	△4,698	△104,449	—	△104,449

(注)セグメント損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。